

令和元年度 日下地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

日下の地域にケアプラザが開所して18年目を迎えました。この間に少しずつ住民も入れ替わり、子育て世代が少しずつ増えている一方で、高齢化もすすんでおり、独居や高齢者世帯も増えてきています。ケアプラザを活用している住民の中には、子育てが終わったお母様方や、サークルや自主事業を通じてつながりを持った住民のみなさまが、地域活動に積極的に参加するようになってきています。また、そのような地域住民を通じて、更に地域の自主的な活動の創出や見守り・支え合いの意識が芽生えつつあります。

このような地域住民の持つ力を公平中立な立場から、地域交流・生活支援・地域包括支援センター協働で支えて行く方針です。

新規
継続

—具体的な取組内容—

■ 各部門、各事業で活用できるケアプラザ独自のアセスメントを検討します。

■ 部屋利用団体の情報の精査を改めて行い、他部門と共有する事で新たな活動団体の登録や稼働率に繋げていきます。

■ エンディングノートの啓発の為講座を開催します。

■ 元気づくりステーション・サービスB(横浜市介護予防・生活支援サービス補助交付事業)や地域のサロン等を含めたインフォーマル情報シートを用いて情報提供をする機会をつくります。

■ 各地域に出向き介護予防普及強化事業を開催します。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

概ねそれぞれに設定した具体的な取り組みは達成することができました。課題に対する取り組みでは、地域の問題・課題を知るためにアセスメントをそれぞれ行い共有しましたが、今年度の計画に反映させることが十分ではありませんでした。短期的な視点、長期的な視点も含めて具体的な取り組みにつなげていければと思います。

地域に対してのケアプラザの機能を最大限に生かすために引き続き広報活動を充実させる取り組みを行いますが、各種、講座や地域で行われる行事にも積極的に参加するなど専門性を生かした取り組みもさらに機会を増やしていければと思います。また、今年度、生活支援COが作成した「インフォーマル情報シート」はケアプラザの機能や地域のインフォーマル情報を介護が必要な人にケアマネージャー等が活用するのに提供できたことは大きな成果でありました。

重点的な取り組みには上げていませんでしたが、区・社協・ケアプラザ・企業(ダイエー)との連携で日野団地の買い物困難の支援で移動販売車の巡回販売が実現できたことも大きな成果でした。買い物困難の問題解決が地域の活動の活性化と住民同士のふれあいと見守り支援の充実につながったことは大変よかったです。

区からのコメント

地域の問題・課題を知るために、各職種で把握している情報を基に評価し、その内容を共有する仕組みが機能しています。振り返りに記載されているとおり次年度の計画に反映させることに加えて、その内容を地域支援チーム等で共有することにも意識して取り組んでください。そのことで各機関が連携した支援につながってきますので、一緒に取り組んでいきましょう。

また、地域ケアプラザが日下地区の活動拠点になっており、地域の様々な活動をつなげることができています。

移動販売では、地域の方々のご協力もあり大変素晴らしい取組になっていると感じています。住民の安全・安心を守り、生活を豊かにしたいという地域ケアプラザの温かい気持ちを見せていただきました。今後もよりよい活動となるよう、一緒に取り組んでいきましょう。